

令和6年8月8日

No. 0194



THE MAGIC OF ROTARY

2024-2025年度RI会長

STEPHANIE A. URCHICK

プログラム

「知的障害の中の重度障害と強度行動障害の現状と課題」
社会福祉法人明桜会 運営企画室長 鳥井健一氏

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

委員会報告

「出席・ソング」 本日のソングは「夏の思い出」です。
当番: 灰野・佐藤

「親睦活動」 おめでとうございます。

当番: 福本・佐々木

結婚記念日 8月12日 中谷佳弘会員

誕生日 8月9日 岡田良平会員

8月11日 岡本果奈会員

①会員家族親睦観月会を下記の通り行います。会員・家族の出欠をご記入ください。

日時 : 9月19日(木) 18時~20時

場所 : 須磨温泉 寿楼

会費 : 12,000円

「社会奉仕」 8月29日(木)「公開納涼寄席」の当日役割分担を配布します。ご確認ください。当日は会場設営準備担当は15時30分、それ以外の会員は16時、本館2階あじさいホールに集合をお願いいたします。

「青少年奉仕・社会奉仕」 プラごみバスターズ大作戦を下記の日程で行います。チラシをお配りいたします。出欠表を回覧いたしますので、多数ご参加ください。

日時 : 9月16日(月・祝) 10:00~11:00

(集合 9:30 あさひ病院駐車場)

場所 : 林崎海岸一带

「明石染二会」 染二会へ多くの方が入会してくださることを希望いたします。加入は任意です。会費5,000円集めます。

「前週プログラム」 「社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕委員長活動方針」
清水良英社会奉仕委員長、阪田真也青少年奉仕委員長

明石は子午線の町です。時間を守りましょう

例会日 毎木曜日 18:00~19:00
例会場 シーサイトホテル舞子ビラ神戸
神戸市垂水区舞子町18-11
TEL (078)706-3711事務局 神戸市垂水区東舞子町18-11
シーサイトホテル舞子ビラ神戸361号室
TEL (078)708-7674
FAX (078)708-7675
E-mail: akashihigashi-rc@cap.ocn.ne.jp

幹事報告

- ①「クラブの現況および各委員会活動状況報告書」をお配りいたします。なお、ガバナー公式訪問は9月5日(木)です。万障お繰り合わせの上ご出席ください。
- ②8月5日(月)明石市立明石商業高等学校へ福永会長、加納幹事、阪田青少年奉仕委員長が表敬訪問いたしました。
- ③神戸須磨RC、龍野RC、神戸垂水RCの地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内を掲示いたします。
- ④「財団NEWS2024年8月号」を掲示いたします。
- ⑤次週(8月15日)の例会は「休会」〈お盆休み〉です。
- ⑥事務局夏季休暇は8月10日(土)～18日(日)です。緊急連絡は福永会長(090-4278-0315)、加納幹事(090-8218-5026)にお願いいたします。

*****~~~~*****~~~~*****~~~~*****~~~~*****

前週の記録

「出席率」 8月1日 46名中 出席36名(出免者8名含) 85.710%

「来客」 松田千尋会員(明石北RC)

「ニコニコ箱」

- 日置 晴喜会員・・皆出席20年祝っていただきありがとうございます。ロータリーに入会して、早くも20年たちました。あつと言う間の20年。人間的に成長したかなあ。
- 篠田 欣一会員・・阪田会員、先日も車にのせていただきありがとうございます。今回の車はクラウン。感想は静かで快適でした。
次週より染二会の入会募集を行います。よろしくお祈いします。
- 藤田 正敏会員・・三木会員、先週はわざわざ明石まで送って戴きありがとうございます。
- 津々木 透会員・・日曜日に炎天下の中、明商の応援に行きましたが残念な結果に終わりました。翌日学校へ行きましたらエースは2年生、秋の大会に向けて頑張っ春めざして練習しますとのことでした。
- 岡本 果奈会員・・毎日暑い日が続いていますね。皆様お身体お気をつけ下さい。8月もよろしくお祈いいたします。

*****~~~~*****~~~~*****~~~~*****~~~~*****

- ◎次週予告 「休会」〈お盆のため〉
- ◎次々週予告 「友愛の日」「世界7大陸ギター唄い歩き」
唄って踊れる土地家屋調査士・夢をかなえる会会長 藤本明生氏

*****~~~~*****~~~~*****~~~~*****~~~~*****

【会員情報】

山根金造会員は明石原人に魅せられ原人まつりを創始されました。
大久保駅前商店街の巖松堂の前に巨大原人木造彫刻像が立っています。

明石は子午線の町です。時間を守りましょう

明石ゆかりの人々とその町かど風景⑥

明石原人に魅せられ原人まつりを創始した山根金造さんと 大久保駅前商店街の巨大原人木造彫刻像

今から50数年前、山手台の県営住宅から、国鉄・大久保駅に行くバス道は一本しかなかった。信じられない事かもしれないが、大久保駅から北の方角を見れば、国道2号線を超えたその向こうに一本の細い道がみえるだろう。この道をバスが往来していた時代があった。魚住駅もまだない、西の次の駅は土山駅。JRという言葉がまだ生まれていない“国鉄”時代の話だ。

島根工業高校出身の山根金造さんは地元の金属加工の会社に就職したが、その会社が関連する神戸の会社、次は明石の会社に転勤を命じられた。そしてこの明石で、勤めの傍ら法政大学の通信教育で法律の勉強を続け、4年で単位を習得し、見事卒業という快挙を成し遂げた。周りの方々の勧めで、大久保の地元生まれ育った信子夫人と結ばれた。現在の本屋・巖松堂は奥さんが経営してゆく予定で開いたそうだが、開店間際、奥さんの妊娠がわかり、金造さんは会社勤めをやめ、本屋の開業に専念することになった。東京の神保町の古書店街にもよく出入りした本好きの東京の文化の香りがする本屋さんが大久保に誕生した。

お医者さんで古瓦収集研究家・井内^{いさお}功先生との出会いを、著書の中で本屋稼業のお陰と書いておられる。しかし井内先生のお話と集められた古瓦の文様から朝鮮半島につながる文化交流を読み取る先生の研究の深さを感じるセンスが磨かれていたからこそ井内功先生との親交が始まったのだ。そして山根金造さんご自身が古瓦や研究書を集め、書店の2階を展示場にする程この世界に没入した。そして、この井内先生との縁で、大久保中八木海岸で化石人骨を発見した直良^{なほら}信夫氏とのつながりが生まれ、明石の考古学の遺産を若者たちにも継承してほしいという願いから、原人まつりにつながってゆく。

現在、取り壊しの問題で揺れている県立図書館と双立していた古い明石市立図書館の2階は一時、“明石ふるさと図書館”という名称で、歴史的にも価値のある図書を集め、自由に開いて読める場を提供していた。そこに金造さんは原人まつりで興味を呼び覚まされた人々が更に関心を深められるよう、ご自分で集めた大切な本を何冊も寄贈された。残念ながら、そのふるさと図書館は消えてしまった。これを継続発展させていたら、明石に古い図書文献が集積され、個人宅に眠っている貴重なコレクションがゴミとして処分される事から幾分かは救われ、明石の文化の底固めができただろう。

巖松堂の前に立つ原人像は、原人まつりで見事なオカリーナ^{ジョンカンギョン}を吹きならした奏者でもある鄭光均さんの作。これも明石にとっては貴重な文化財である。 文・明石ペンクラブ 小栗秀夫

